

腫瘍内科、第 1 内科、第 2 外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、手術で摘出された残余標本の検査と通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、掲示などにより情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ヒト大腸癌における Stem cell 関連因子（LGR5、Integrin α 6 および c-Myc）の発現に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院腫瘍内科

[研究責任者] 木下 一郎（腫瘍内科・講師）

[研究の目的]

大腸癌の治療法の開発のため、「大腸癌の幹細胞関連因子（LGR5、Integrin α 6 および c-Myc）」が組織においてどのように発現し、どの様ながん関連遺伝子と関係しているのかを検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大腸癌および線腫の患者さんで、2000年4月1日から2003年12月31日の間に第2外科で手術治療を受けた方

●手術残余標本（検体）による検査

上記の期間で手術を受けた方から摘出されて残った標本を用い、「LGR5、Integrin α 6 および c-Myc」に関する検査を行います。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、組織型、分化度、病期、予後など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院腫瘍内科

電話 011-706-5551

担当医師 木下 一郎

FAX 011-706-5077